

10・10 福島から



原発への怒り爆発！

10月10日 福島で行われた反原発集会に全国から350人が結集！

★「NAZENフクシマ」結成！

10月10日、「すべての原発いやすぐなくそう！全国会議・フクシマ」(NAZEN・フクシマ)の結成集会が、被災地を先頭に全国から350人の結集で行われました！

集会では、「子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク」を先頭に、福島県から農民や労働組合など多くの方の発言が行われ、原発労働者からのアピールも紹介されました。さらに、広島で被爆者医療に30年以上携わってきた吉田良順医師が講演。「闘わなければ政府は動かない」など熱烈に訴えました。長崎からも被爆者がかけつけ、動労水戸というJRの労働組合から、労働者と地域住民を被曝から守る緊急闘争が報告されました(裏面参照)。

集会の最後には福島大生が発言し(右参照)、さらに東北大学から学生自治会の委員長が発言しました。日本中から労働者・学生・弁護士・医者の方々の多数の参加が勝ちとられ、大高揚の中、NAZENフクシマ結成宣言が採択！

そして全参加者が、11月6日に東京・日比谷で行われる全国労働者集会の大爆発を勝ちとることを決意しました！

福島大一年生の集会発言！

福島大学はとんでもない所と手を結んでいます。日本原子力開発機構です。今回、原発の最も近くにある国立大学である福島大学が、原子力発電を推進しようとする組織と手を組んで、たった一度の事故で住民の暮らしを奪って、子どもたちの未来を奪って長い時間をかけて人を苦しめて、作業員を殺してしまうようなこんな原発を続けるためのいいわけを考えることに協力することなんて、あってはならないことだと思います。これからそこで勉強していく一人として、自分の出た大学がそんな真っ黒な原子力発電の研究に加担しているなんて嫌です。

しかし、一人の学生の私にはできることは少ないと感じます。そこで私は、NAZENの力を借りて大学の方針、原発再稼働を強行しようとする勢力と闘っていこうと思います。がんばりましょう！

全学連

全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)

TEL 050-3036-6464 mail_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp/

★フクシマの怒りに応えよう！

結成集会では、「子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク」から佐藤幸子さんと椎名千恵子さんが発言。佐藤さんは、「フクシマは日本政府が落とした三度目の原爆だ。誰も御用学者の言うことは本当だと思っていないが、不安で信じるしかない。放射能は見えないが、敵もそれよりも大きな見えない力で結びついている。私たちが結びつこう！」と激しく訴えました。椎名さんは、「子どもたちの命がかかっている。もう拳は下げない！」と決意を訴えました。酪農家の鈴木光一郎さんは、「この結成を一番喜んでいるのは福島の農民だ」と連帯あいさつを述べました。教育現場の声を代表して、相馬市で働く高校の先生が、「今教師が立ち上がらなかったら、この国の教育は戦前と同じになってしまう」と使命感をもって発言。フクシマの怒りはさらに広く大きく燃え上がっています。

★大学から原発をとめよう！ 10・21福島大学闘争～11・6集会へ！

そして今、この「フクシマの怒り」を抑え込むのに必死になっているのが大学です。福島現地では御用学者、そしてこの法大キャンパスでは弾圧職員がその象徴です。この連中を私たち学生の力で全国の大学から叩き出そう！

この10月は、全国の大学で「フクシマ連帯」を掲げて多くの行動が取り組まれます。10月21日には福島大学で全国学生集会を行います。すべての法大生に集まってほしい！

そして、11・6労働者総決起集会は、日本全国から闘う労働組合や学生、農民、市民が集まり、この社会の力関係を根本から変えるための集会です。アメリカでは、「ウォール街を占拠せよ！」を合言葉に、青年・学生が立ちあがっています。時代は私たち学生の決起を求めています。私たち自身の闘う運動を復権させ、カネ儲けばかりが優先されるこの社会を根本から変えよう！

被曝労働許さない！ 動労水戸がストライキに決起！

野田政権は9月30日、「放射能安全キャンペーン」と一体で、広野町など福島県内5市町村を対象とした「緊急時避難準備区域」指定を解除しました。それを受けてJR東日本が広野駅までの営業運転再開を宣言。

さらにJR東日本は、震災から半年以上広野駅に放置されていた電車を勝田車両センターに持ってきて検修を行い、運転に使うことを決定しました。広野駅の放射線量は毎時6μシーベルト(年間約50ミリシーベルト!)であり、そこに半年放置されていた電車を使うというのだ！

動労水戸との団体交渉でJR東日本は、「国が安全を確認したから、JRとして対策をとる必要はない」と言い張り、「放射線量の測定もやらない」と主張。これに対して10月8日、動労水戸はストに決起しました。しかしJR東日本は10月9日、その車両を勝田車両センターに回送し、センターのすぐ隣の児童公園で子どもたちが遊んでいる横で汚れた車両の水洗を強行。水と共に放射能が飛び散り、大変危険なのは誰の目にも明らかではないか！動労水戸の組合員は、子どもたちを避難させ、その暴挙を徹底弾劾。さらに、13日の検修業務に対してすでにストライキを宣言し、その準備に入っています。JR東はこの緊急闘争を、「違法なストライキだ」として告発しようとしています。絶対に許せない。被曝労働を許さず、乗客の安全を守り、フクシマ棄民政策を打ち砕く動労水戸のストライキに連帯しよう！ 11・6労働者総決起集会へ！

福島民友に動労水戸のストライキが紹介されました!(10/8付)

JR水戸支社に除染要望

JR常磐線久ノ浜～広野駅間が10日に運行再開することに関連し、国鉄水戸動力車労働組合(動労水戸)は7日、JR水戸支社に駅の除染などを求める要望書を提出したと発表した。石井真一執行委員長らがいわき市で記者会見し説明。3日に13項目の要望を出し、8日には勝田車両センター(茨城県)に勤務する11人の組合員がストを行うという。

→次は11月6日(日)正午、日比谷野外音楽堂だ！

反原発×反失業！全国労働者集会

すべての原発を停止・廃炉に！ 新自由主義と闘う労働組合のネットワークを！ 解雇撤回－非正規職撤廃！

●呼びかけ●全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部／全国金属機械労働組合 港合同／国鉄千葉動力車労働組合 http://www.geocities.jp/nov_rally/



写真：9.19反原発デモでの学生の隊列